【樹木の部屋】

シロバナハコネウツギ
（スイカズラ科タニウツギ属　Weigela coraeensis Thunb.　）

和名：シロバナハコネウツギ(白花箱根空木)　別名：　　英名：

マツムシソウ目　落葉小高木　　原産地：

花言葉：　　花の色：白

← 写真-１　シロバナハコネウツギ
撮影日：2018 年 04 月 21 日
撮影場所：カランバカ(ギリシャ)にて
撮影者：M　さん

↘ 写真-２　シロバナハコネウツギ
撮影日：2018 年 04 月 21 日
撮影場所：カランバカ
(ギリシャ)にて
撮影者：M　さん

ギリシャ北部の街、カランバカで宿泊したホテルの花壇に植栽されていました。ハコネウツギの仲間だとは想像できましたが、白花のみ・・。帰国後、調べて見ると、シロバナハコネウツギでした。

ハコネウツギの品種で、花の色が白のままで紅色に変わらないもの。なお、本種の同定は株全体を見て判断できることもありますが、通常のハコネウツギも初めは全て白色なのでその時点では判断できないこともあり、後日紅色に変わっていないかどうかを確認する必要があるそうです。

葉は対生し、葉柄は長さ 8～15 ㎜。葉身は長さ 6～16 ㎝の楕円形～広楕円形、先は鋭く尖り、基部は円形～楔形、縁に細鋸歯があります。枝先や葉腋に 2～3

個の花をつけます。花冠は長さ3〜4㎝、漏斗形、先が5裂します。苞は長さ2〜12㎜の披針形〜線形。

花は初め白色、次第に紅色に変化する種はハコネウツギ、初めから紅色の種はベニバナハコネウツギ、白色で変色しない種がシロバナハコネウツギです。花冠の筒部が中間で、急に太くなるのが特徴。